

ヴェリタス学習会通信 90

予定表カレンダー →



令和6年9月の予定

- ・月曜日 9月2・9・16・23・30日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・水曜日 9月4・11・18・25日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 9月5・12・19・26日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・金曜日 9月6・20日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00
13日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・土曜日 9月28日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00



藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

13日(金)は、施設に先約があったため、ヴェリタス事務局で行います。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

27日(金)は休会です。代わりに28日(土)に北勢市民会館リハーサル室を予約しました。

大雨やその他の警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がるZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

ヴェルサイユ宮殿は絶対王政の象徴



← (画像は Wikipedia より)

パリオリンピックの馬術と近代五種競技の会場にもなったヴェルサイユ宮殿は、パリの南西約22キロのところにあります。フランス王ルイ13世が狩りに出かけたときの立ち寄り先の館を、ルイ14世が自分の宮殿にするために大増築を命じ、実に20年以上もかけて、大宮殿を造らせました。そして、この宮殿は、歴史の教科書にも出てくる絶対王政の象徴ともなりました。

当時50万人ほどが暮らしていたパリを離れ、ルイ14世はヴェルサイユに移り住みます。貴族や聖職者約千人も宮殿の敷地に部屋をもらいます。家族や従者を合わせると五千人以上が暮らす大宮殿です。外国の使節や商人、その他の人も出入りするため、一万人がヴェルサイユに居住するということもありました。

王の権力は神様から与えられたもの

封建時代のフランスは、〇〇公や△△侯などといった貴族が、それぞれに大きな領地を支配し、王も思うようにできないほどでした。しかし、他国に対抗するために、徐々に王権が強くなっていきます。太陽王と呼ばれたルイ14世は中央集権化を進め、政治権力のすべてを握るまでになりました。王権神授説おうけんしんじゆまつという考えが出てきて、王の権力は神様から授かさずったもので、逆らってはいけないということになってしまいました。



ルイ14世

貴族や聖職者たちは、王に気に入られるように努力しました。嫌われると領地や役職がなくなったりするのです。できるだけ王の近くにいられるように、自分の領地ではなくヴェルサイユで暮らすようになります。王は気に入った貴族や聖職者を近くに置きます。王の意見に反対する者はいなくなります。

王権は絶大になったが、財政は火の車

ルイ14世の時代に、王権は頂点に達します。一方で、ヴェルサイユ宮殿の建設、戦争費用の増大などで、借金がいへんな額になります。宮殿を飾っていた財宝を売りに出したり、増税をしたりしてもお金が足りません。ルイ15世、16世に、負の遺産が引き継がれます。

民衆のことを考えない政治と経済問題が原因となり、やがてフランス革命が起こり、王政は廃止の方向に進みます。大きくなり過ぎた王権が、やがて王権を廃止させるという皮肉な結果を生むのです。

プライバシーのない王の生活



ヴェルサイユのルイ14世は、起床から就寝まで日課が決められていました。彼の生活そのものが、国民に開示され、国王としての役割を演じなければいけません。それも王権を維持するために必要な手段だったのです。

朝起きて、衣装を順番に身に着けていきます。かつらも着けます。短いお祈りをして、それから軽い朝食をとります。この間、王族や貴族たちが決められた順番であいさつに来ます。服を着ているときもやってきます。1日の日課を就寝まで書こうかと思ったのですが、書く場所がありません。遊びの時間を含め、常に王族・貴族。聖職者と一緒이었습니다。16世の王妃マリー・アントワネットの出産も国家の一大パフォーマンスに利用されます。宮殿内で王族や貴族が見守る中、出産が行われました。

皆さんは、(ブルボン朝の) フランス王家の王や王妃になってみたいですか？